

令和7年度サケ来遊状況及び令和8年度サケ来遊予測

令和8年8月21日
宮城県水産技術総合センター

1 令和7(2025)年度の宮城県及び全国のサケ来遊状況

(1) 宮城県

- ・宮城県のサケ来遊数は、3,596尾(沿岸捕獲1,581尾、河川捕獲2,015尾)となり、前年度比で42%となりました。
- ・令和7年度の来遊数は、昭和52年度以降では最も少ない結果となり、引き続き非常に低い水準が続いています。
- ・年齢別の内訳をみると、3年魚(1,223尾、前年比58%)、4年魚(2,221尾、同36%)、および5年魚(152尾、同47%)、すべての年齢で前年より減少していました。

(2) 全国 ※1

- ・全国のサケ来遊数は6,930千尾(対前年比39%)となり、すべての地域※2において1989年以降で過去最低の大不漁となりました。
- ・北海道の来遊数は6,858千尾(対前年比39%)、本州の来遊数は72千尾(対前年比35%)で、前年の4割弱となっています。

※1 国立研究開発法人水産研究・教育機構(以下、水研機構)調べ

※2 北海道日本海側、北海道太平洋側、本州日本海側、本州太平洋側

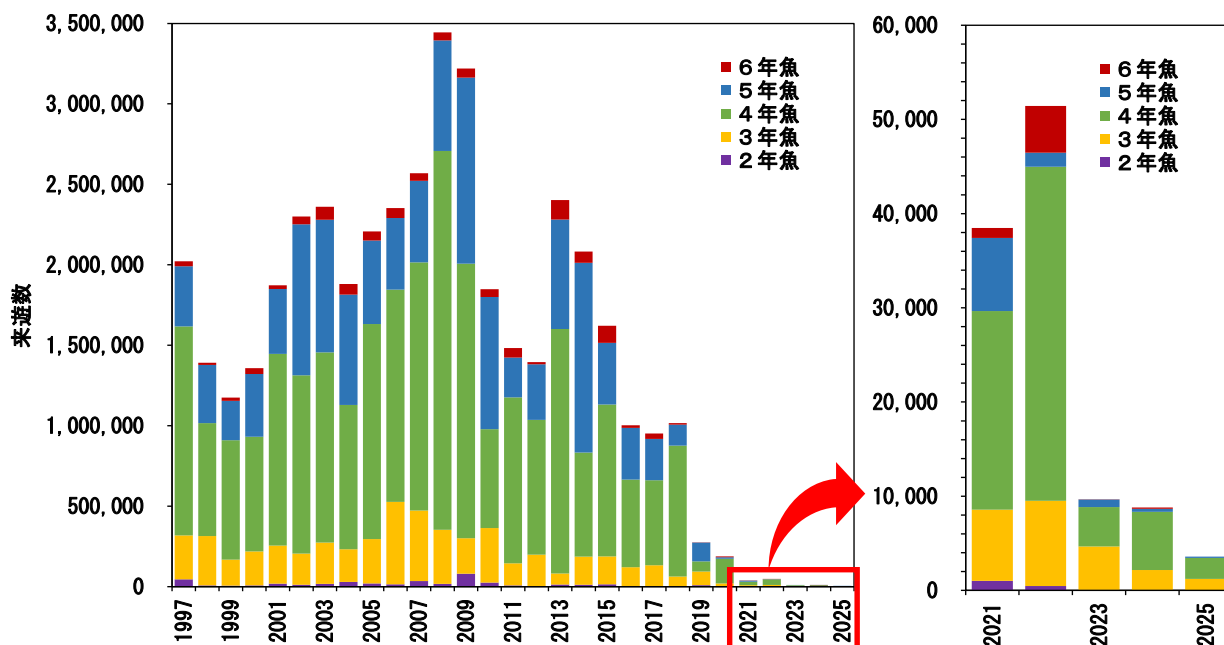


図1 宮城県の秋サケ来遊数(年齢別)の推移

2 令和8(2026)年度サケ来遊予測

令和8年度来遊予測値：2千尾（1千～4千尾となる確率が約80%）

【参考】

令和7年度来遊予測値：6千尾 3千～9千尾となる確率が約80%

令和7年度来遊実績値：3,596尾

- ・ 令和8年度の来遊予測値は、2千尾（1千～4千尾）と予測され、令和7年度の来遊実績値を下回る予測となり、これまででもっとも低い予測値となりました。
- ・ 来遊数が極めて低い状況は、今後も継続するものと考えられます。
- ・ 令和7年度の来遊実績（3,596尾）は来遊予測値（3千～9千尾）の範囲内でした。

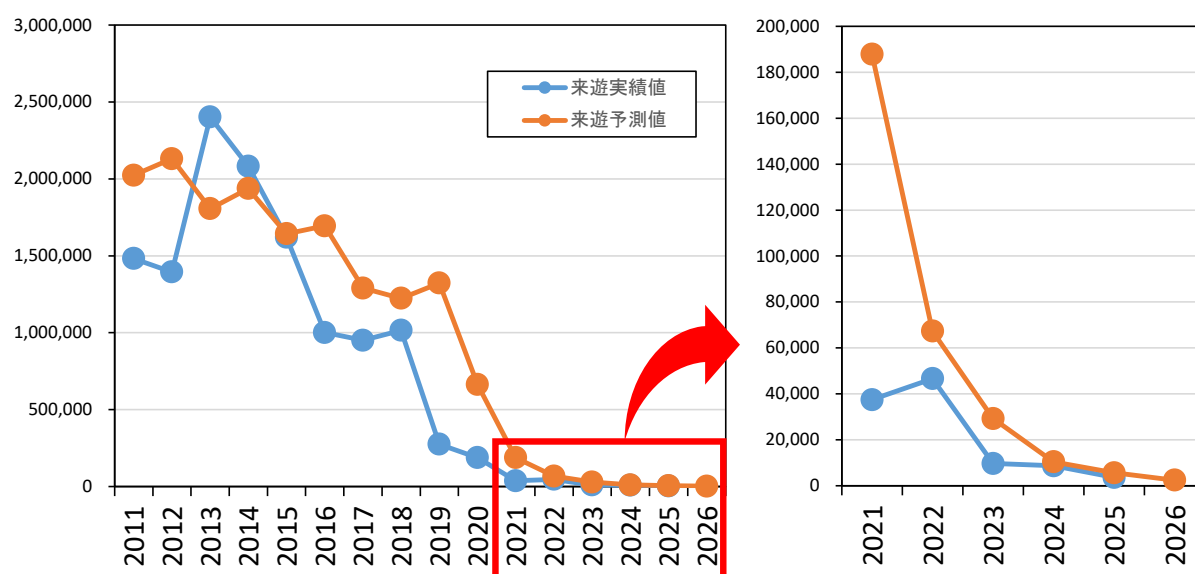


図2 宮城県の秋サケ来遊予測値と実績値の推移

- 本県のサケ来遊は秋季の沿岸海況にも影響を受けます。海況の予測については、水研機構水産資源研究所が発表する情報(東北海区海況情報)を参考にしてください。

東北海区海況情報 <https://ocean.fra.go.jp/predict/index-j.html>